

全支部で年間目標達成・昨年実績超過を!

あかるいまち21

No.1092号 2017年12月 6日 組織部 TEL082-532-1264

	12月累計	4月～11月
組合員ふやし	16人	978人
出資金ふやし	39万円	7385万円
純増	▲88万円	1122万円

大腸がん検診月間が始まります。12月から2月まで

一度こたつに入ったら出られない、そんな季節がやってきました。寒いのが苦手な人にはつらい季節ですが…その寒さが大腸がん検診にはうってつけなのです。ということで、12月1日～2月28日は「大腸がん検診月間」です。この期間のみ、郵送での大腸がん検診ができます。今年度まだ検診を受けていない人はぜひこの機会に！周りの人にもすすめてください！

11月29日、月間スタートに先駆けて、大腸がん検診の学習会を開催し、61名の参加がありました。予定していた講師の飯田先生が、残念ながら当日体調不良のために欠席となり、代役の健診センター主任・佐々木看護師からお話を聞きました。大腸がんの危険性や症状、検診の意義などがわかりやすく説明され、参加者も熱心に耳を傾け、質問をしていました。



続いての、広島民医連主催「フレイル予防学習会・三生協健康づくり活動報告」に、参加者大満足

同時開催となった「広島民医連健康づくり活動交流会」では、医療福祉生協連会員支援部の多賀谷真樹部長さんからフレイル（虚弱）予防のお話をたっぷり楽しく伺いました。「指輪っかテスト」や片足立ちなど、参加された方がフレイル状態かもという診断も織り交ぜながら、運動・栄養・社会参加それぞれの大事な点についてお話をいただきました。世界最高齢の陸上競技者の105歳の方も、陸上を始めたのは高齢になってからだったということで、運動はいつ始めても遅くないと、参加者に勇気を授けていただきました。そして、私たち医療福祉生協の活動こそがフレイル予防になるとお互いに確認できました。

さらに福山医療・広島医療・中央保健の3生協の健康づくり活動についての貴重な報告が続き、盛りだくさんでちょっと予定時間を少々オーバーしてしまいましたが、参加されたみなさんが「来てよかった」という表情の笑みを浮かべながら、また、引き続きの広島民医連内での活動交流を期待しての散会となりました。



《3生協の健康づくり活動報告》

- ①福山医療生協「大腸がん検診
今年度目標 5000件 沼隈支部熊野班・故山理事
- ②広島医療生協「健康サポーター育成、進行中」
健康づくり委員会・伊藤理事/尾形さん/山本さん
- ③中央保健生協「けんこうチャレンジで広がる健康づくりの輪」健康づくり委員会事務局・毛利さん

協同組合がよりよい社会を築きます